

# A LIST OF ARCHITECTURE GUIDE

to the UN 17 Sustainable Development Goals

January 2019

## 17 の国連 SDGs に対する建築ガイド 第 1 版の一覧表



和訳版および一覧表編著：岩村 和夫 (FJIA / UIA SDGs Commission 委員)

註：本一覧表は和訳版「SDGs 建築ガイド」を一覧表に編纂したものである

17の国連SDGsに対する「建築ガイド」一覧表

凡例 BM: Building Material, BE: Building Element, ED: Equipment Design, AD: Architectural Design, CD: Community Design, LD: Landscape Design, TP: Town Planning, PD: Politics Design

SDGs		一般的目標		建築ガイド		事例				
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別		カテゴリー
#01		<p>貧困をなくそう</p> <p>あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p>	<p>建築で貧困は引き上げることができないが、アフォーダブルな住宅や仕組みによって、貧しい生活を改善できる</p>	<p>1) 貧困対策としての政策的住宅供給支援</p> <p>2) 社会住宅、生協、都市改良等による生活改善</p> <p>3) アフォーダブルな住まいの技術と供給システム</p> <p>4) 建築プロセスでの地域コミュニティとの関わり</p> <p>5) ファンド、財源の確保と有効利用</p>	01-1	<p>Volontariia Home for homeless children</p> 	Pondicherry, India	住宅	<p>① ホームレスの子供と里親のための住まい</p> <p>② アフォーダブルな住まいの類型の実験住宅</p> <p>③ 現場で焼成する泥土住宅</p> <p>④ 地域の自然資源、技術の活用</p> <p>⑤ 窯としての住宅によるセラミック製品の現場製造</p> <p>⑥ 廃棄材のアップサイクル</p>	<p>PD, AD</p> <p>AD</p> <p>BM, AD</p> <p>BM</p> <p>BE, AD</p> <p>BE</p> <p>ME</p>
					01-2	<p>Non-profit Affordable Housing</p> 	Dortheavej, Denmark	住宅	<p>① 低所得者用社会住宅</p> <p>② プレファブ構造ユニットの積層と湾曲した配置</p> <p>③ 格子状テラスによる健康・快適な中間領域</p> <p>④ 単純化した材料と色彩による際立つ内外空間</p> <p>⑤ 湾曲した建築に囲まれ、近隣に開かれた公共広場</p>	<p>PD</p> <p>AD</p> <p>AD</p> <p>AD</p> <p>LD, CD</p>
#02		<p>飢餓をゼロに</p> <p>飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p>	<p>エコシステムを保全しつつ、食糧生産のための土地や空間の保全・拡大に貢献する TP/LD/AD</p>	<p>1) 持続可能な農業を支援する開発・土地利用</p> <p>2) 都市農業、生協生産活動、再生型 LD</p> <p>3) 地域条件の反映と収穫物の確保</p> <p>4) 気候変動に対処したデザイン</p> <p>5) 農業と建築材料の関連</p> <p>6) プロセスへのエンド・ユーザーの参加</p>	02-1	<p>Impact Farm</p> 	Radonia, Denmark	温室	<p>① ローカルな農業の活用による資源・時間の節約</p> <p>② 資源効率を高める新たな水耕栽培システム</p> <p>③ 淡水使用量の削減</p> <p>④ リース、移動可能な構造</p> <p>⑤ 食糧地産地消の再考とコミュニティの育成と教育</p> <p>⑥ 併設した社会施設を活用したイベント、意識の高揚</p>	<p>PD, TP, LD</p> <p>AD, LD, ED</p> <p>ED, AD, LD</p> <p>AD</p> <p>CD</p> <p>AD, CD</p>
					02-2	<p>The Michigan Urban Farming Initiative</p> 	Michigan, USA	都市農園	<p>① デトロイトの貧弱な食糧事情の改善と、空き地利用</p> <p>② 都市農業の革新的最前線</p> <p>③ 生産農地 1/3、対話型農業拠点 1/3、施設用地 1/3</p> <p>④ 全員ボランティアの NPO</p> <p>⑤ 社会経済的不均衡の是正と都市コミュニティの強化</p> <p>⑥ 持続可能な都市アグリフード：ミックスユース開発</p>	<p>PD, TP</p> <p>TP, LD</p> <p>LD, TP</p> <p>CD</p> <p>CD</p> <p>PD, TP</p>

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
	番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法
#03		<p>すべての人に健康と福祉を</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を増進する</p>	<p>殆どの人は生活の大半を室内で暮らす。従って、室内気候は健康に多大な影響を及ぼす</p>	<p>1)健康な室内環境の創出は建築設計の根幹に関わる要素である</p> <p>2)特に病院等弱者がユーザーの建築の場合、留意すべきである</p> <p>3)環境的に有害な材料や物質の使用を避ける</p> <p>4)ADだけでなく、CDやTPが発生した病気の拡散を抑制する上で大変重要である</p> <p>5)建築環境は市民の運動機会の促進を目指した計画に留意すべき</p> <p>6)また、事故のリスクを削減に寄与するまちや都市のレイアウトに取り組むべきである</p>	03-1	The Magoda Project	Magoda, Tanzania	住宅	<p>①アフリカにおける伝染病の蔓延を防ぐ住まいの改善</p> <p>②健康、衛生、快適性を実現するアフォーダブルな建築的手法の実践と住み手の理解</p> <p>③アジアとアフリカの通風と構法の伝統的技術の統合</p> <p>④地域の技術者、職人、医師、社会学者との協働</p> <p>⑤地域の木質系素材を多用し、衛生設備を完備した住まい</p> <p>⑥調査ツールとしての実験的住宅の活用</p> <p>⑦地域コミュニティのリーダー等を巻き込んだ新たな住まいの理解と受容</p>	PD, AD AD, CD AD BM, AD PS BE BM, ED AD, PD CD, PS
					03-2	Konditaget Lüders -th e fitness roof	Lüders, Denmark	駐車場	<p>①都市空間内のお運動スペースを確保し、健康と福祉を支援</p> <p>②インフラ施設にリクリエーション・運動空間を付加する</p> <p>③駐車場+緑化ファサード+屋上運動場の「Park &amp; Play」</p> <p>④2,400 m<sup>2</sup>のスカイラインと多彩な運動の場の提供</p> <p>⑤屋上公共空間と緑化ファサードで近隣に健康・福祉の提供</p>	AD AD, LD AD LD, CD AD, CD
					03-3	Maggie's at the Robert Parfett Building	Manchester, UK	療養所	<p>①癌患者とその家族を社会的に支援するマギーズ・センター</p> <p>②建築が寄与できる癒やし（静寂・清浄な空気）の役割</p> <p>②空間、色彩、音。安心、快適性が促進する治癒効果</p> <p>④自然光、緑、眺望に配慮した「家から離れた家」</p> <p>⑤個人的ニッチ、図書館、運動室、集会・喫茶室等の多彩な空間の中心に厨房と共用大食卓</p> <p>⑥温室内外での治癒効果を楽しむ仕掛け</p>	PD, CD AD, LD AD AD, LD AD AD, LD

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
	番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法
#04		<b>質の高い教育をみんなに</b> 質の高い教育をみんなに すべての人々に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	学校や教育空間は、建築環境の中でも未来のための投資対象として最も重要なものの一つである	1)どんな状況でも、学校に通い教育を受けられることは子供達の未来を決定づける 2)そのために、アフォーダブルで生産的な学習環境を建築として提供しなければならない 3)独立したエネルギー供給、移民労働者用可動教室等の事例がある 4)建築、まち、都市のユーザーと職人にとってそのあり方を学べる良い機会となる 5)また、その設計・使用段階でコミュニティと連携し、持続可能な地域文化を促進できる 6)特に初等教育レベルでは、持続可能なデザインや工芸技術に関する知識の展開に焦点を当てることが鍵となる	04-1	Avasara Academy 	Avasara, India Photo: Case Design	学校	①インドの半数以上の女子は中高高等教育を受けず18歳以前に結婚し家庭に入る ②本アカデミーはインドの女子に教育を提供し、コミュニティの意識改革を狙っている ③寄宿学校で、室内外に安全で家族的雰囲気を生み出している ④女子の個性を生かし、個人と共同、社会生活のための空間構成が注意深く図られている ⑤建築の材質にも気を配り、織物、家具等も、インド古来の地域素材・顔料等で和らぎのある独特な建築空間を創り上げた	PD AD, CD AD AD, CD BE, AD
					04-2	Frederiksbjerg School 	Aarhus, Denmark Photo: Hufton+Crow	学校	①休憩時間帯の身体的運動が、学習後の記憶の維持に役立つ ②そのための中間領域の活性化と活用が重要 ③この公立低学年用中学校は国の政策に基づく、身体的運動を促進できる室内外のデザイン ④2 地点間の移動ルートの多様化と、運動の可能性を導入 ⑤机と椅子の代わりに階段型の教室や、多様な内外空間の提供	AD AD, LD PD, AD AD, LD AD, LD
					04-3	The Community Dome 	Za'atari Village, Jordan Photo: Martina Bo Rubino	学校	①シリアからの非合法難民キャンプでは教育施設がない ②「難民の子供達に100の教室を」運動の目的、は移動可能な簡略な学校を影響すること ②そして、その技術を参加型ワークショップで普及すること ④NGO ヨルダンを変える運動と協働し、子供のための空間をスーパー・アドベ構法で実現 ⑤その技術を地域に伝えることで、生計と地域社会を強化	PD PD, PS AD, CD AD, PS AD, CD

SDGs		一般的目標		建築ガイド		事例				
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリー
#05		<b>ジェンダーの平等を実現しよう</b>  ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女性のエンパワーメントを図る	建築、まち、都市のデザインは、性差に拘わらず、あらゆる市民に開かれたものでなければならない	1)公共空間、施設、サービスは、女性・女性・LGBT+市民の安全を確保し、虐待のリスクを回避する  2)それは、女性・女性の社会的自立の鍵  3)健康、衛生、集会が可能なアフォーダブルで安全な施設の提供  4)以上の事例は、産婦人科施設、住宅、公衆浴場等  5)また、遊び場やスポーツ施設も同様な機会の提供が不可欠  6)古い体質の建設産業は、労働環境や賃金の面から女性の能力を支援できるように改革する必要がある  7)そして、設計から建設まで、多くの女性が参画できる性差のない産業文化を構築する	05-1	Kachumbala Maternity Unit  	Kachumbala, Uganda  Photos: HKS Architects	産婦人科施設	①ウガンダ東部は貧しく産婦・新生児の死亡率が高い ②医療、衛生設備、電気、水道へのアクセスが限られている地域での新たな産婦人科施設が必要 ③交通インフラが未整備な同地域で、産後経過観察が可能な施設を伴う助産施設で、妊婦の家族の滞在、支援も可能 ⑤建材は 9 割強が地域産で、電気のいらない現場行程 ⑥英国ウエールズの専門家との協働で、助産婦の訓練、地域医療サービスの支援も実施	PD AD, PD AD PD, CD
					05-2	Nakuru Children's home  	Nakuru, Kenia  Photo: Orkidstudio	住宅	①ケニアでは女性の半分以上が貧困ライン以下で、半分以下しか女子教育を受けていない ②一方、建設産業は成長著しく女性の教育・雇用に大きなポテンシャルがある ③この「こどもの家」の建設に参加した女性が、その能力を実践し、訓練・雇用拡大に貢献した ④それは地域の女性に経済的自立と暮らしの変革をもたらした ⑤その結果男性の意識も変えた	PD AD, PD AD, CD CD
					05-3	Wonder Wood – a loop of movement  	Skørping, Denmark  Photo: Leif Tuxen for the Danish Foundation for Culture and Sports Facilities	校庭	①男性と女性は身体的運動に関わる空間的嗜好性が異なる ②本プロジェクトの目的は、女性の積極的な身体的運動の促進 ②クラスター状に分散した遊び場と樹林との融合と、そのルートに木製の多様な要素を配置 ④そこにグループワーク用のラウンジ、スクリーンを設け、安全な「エッジゾーン」として様々な子ども達に開いた施設構成 ⑤その結果、女性の運動への取組が増加した	PD PD, AD AD, LD AD, LD

SDGs		一般的目標		建築ガイド		事例				
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリー
#06	 <p>安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>安全な水とトイレを世界中に</p> <p>すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>	<p>良い水が希少な地域では、雨水を利用できるように、集水、浄化、貯留できるように建築や市街地をデザインすることが重要である</p>	<p>1)雨水と汚水が混ざらないように地下水に合流できるシステムを構築する</p> <p>2)建物や市街地の衛生上、その下水システムやインフラは、バクテリアや汚水ときれいな水や市民と接触しないように計画・デザインする</p> <p>3)そのキーポイントは、汚物を処理できるトイレとそのアクセスを確保すること</p> <p>4)また、建材も採取、建設、使用の段階を問わず、地下水を汚染しないものを選ぶ</p> <p>5)極端な降水量、干ばつ、洪水等の水に関する気候変動に耐えるような建築、まち、都市</p> <p>6)また、水資源の保護とリクリエーションとの融合を促進する</p> <p>7)建築レベルの水処理システム、都市スケールの気候変動対策、スラム地区での共用トイレの整備</p>	06-1	<p>Warka Tower</p> 	<p>Dorse, Ethiopia</p> <p>Photo: Warka Water Inc.</p>	集水塔	<p>①エチオピアの健康問題は安全な水と衛生施設の不備に起因</p> <p>②ワルカ・タワーはそんな地域のための水資源供給施設で、大気の蒸気から結露と重力によって水を抽出する</p> <p>③従って、地域の村人が操作でき、同時に天蓋の日陰、や木陰で学校や集会が開けるコミュニティの共用空間を兼ねる</p> <p>④また、地域産の生分解で100%リサイクル可能な材料を使用</p> <p>⑤建設、メンテも村人が簡易にできるようにデザインされている</p>	<p>PD</p> <p>AD, MD</p> <p>AD, LD</p> <p>BM</p> <p>AD, CD</p>
					06-2	<p>Frederiksbjerg School</p> 	<p>Aarhus, Denmark</p> <p>Photo: Carsten Ingenann</p>	公園	<p>①気候変動による降雨の増加で市街地の排水処理、下水システムへ大きな負荷が掛かっている</p> <p>②同時に水域に溢れ出た汚染線水が生き物へのリスクを増大</p> <p>③市と公益事業体は浄水場を、2.6haの水面の多目的リクリエーション公園として拡張した</p> <p>④その多目的とは、気候変動適応、教育、排水処理、余暇機能等</p> <p>⑤水関連スポーツや遊び場を提供しつつ、水資源・浄化システムに関する教育の拠点である</p>	<p>PD</p> <p>PD, LD</p> <p>PD, LD</p> <p>PD, AD, LD</p> <p>AD, LD, CD</p>
					06-3	<p>Living Machine</p> 	<p>San Francisco, USA</p> <p>Photo: Carmen Magana</p>	事務所ビル	<p>①水の持続可能な処理とリサイクルは建築環境の中心的課題</p> <p>②本ビルは「リビング・マシン」システムによって、中水と汚水をオンサイトで処理する米国における第1例である</p> <p>③本プロジェクトは他のビルに普及する目的で実施され、LEED プラチナに評価された</p> <p>④このシステムで年間3百万リットルの再生水を作り出す</p>	<p>PD</p> <p>AD, MD</p> <p>AD, PD</p> <p>AD, MD</p>

SDGs		一般的目標		建築ガイド		事例				
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#07	 <p>エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>安全で安価なエネルギーをみんなに</p> <p>安価で信頼できる持続可能名新しいエネルギーをみんなに</p>	<p>建築環境はエネルギー消費の主原因であり、その一方でエネルギーを生産できる大きな能力を有している</p>	<p>1) 建築の過剰暖房を最小化する配置や建材利用によるエネルギー消費の低減</p> <p>2) 日中の余剰熱を蓄熱し夜間に利用するようなりサイクルシステム</p> <p>3) その鍵は、地理的、気候的、文化的与条件の把握と、それに適応した建築環境デザインが不可欠</p> <p>4) 昼光、自然換気利用し、冷暖房を支援する建材の選択</p> <p>5) 建設産業は、建材採取から建設、運用、修復、除却に至る全行程のエネルギー消費の低減に寄与すべきである</p>	07-1	<p>Powerhouse Kjørbo</p> 	Oslo, Norway	既存ビル改修 + 発電所	<p>① 効果的な改修により、既存建築ストックのエネルギー消費を大幅に低減する</p> <p>② ノルウェーにおける本事例は、80年代のビルの改修によりプラス・エネルギー化を実現</p> <p>③ その際、関連する専門分野の協働により、再生可能エネルギーを導入した</p> <p>④ 外部の井戸水やソーラーパネルの活用、シンプルなゾーニングでエネルギー負荷を削減した</p> <p>⑤ 結果的に、ライフサイクル/エンベデッド・エネルギーの大幅な低減が実現した</p>	PD, AD AD, MD AD, MD AD, MD, LD AD
					07-2	<p>Øvre Forsland Hydropower Plant</p> 	Forsland, Norway	水力発電所	<p>① 脱化石燃料化と代替エネルギー源による大気汚染改善と温暖化ガス排出の抑制</p> <p>② 北ノルウェーの同事例は、既存水力発電所の効率化と、観光政策としての景観化を実現した</p> <p>③ 周辺環境と応答する建築形態と発電行程の可視化によって、色彩デザインとともに、訪問者に効果的な体験を促す</p> <p>④ 本発電所は、1,600世帯分の電力を供給できる</p>	PD PD, LD PD, LD PD, AD, LD AD, LD, CD
					07-3	<p>Paramit – factory in the forest</p> 	Penang, Malaysia	工場	<p>① 建築のデザインがエネルギー性能とエコロジカル・フットプリントを左右し得る</p> <p>② 本事例は工場、倉庫、オフィスからなり、医療器具の研究・製造・サービスを行っている</p> <p>③ 気候条件に適したエネルギー効率の高い設計で、以前の工場に比し45%の消費削減を達成</p> <p>④ ルーバー状の屋根で遮光し、樹木・植栽の日陰と蒸散効果等、パッシブな環境制御を実践</p>	AD AD, MD AD, LD AD, LD

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#08		<b>働きがいも経済成長も</b> 包括的かつ持続可能な経済成長及び、全ての人の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する	建築環境は、働きがいのある仕事と経済成長に、その計画と建設の両レベルで相互関係がある	1)安全な公共空間やアフーダブルなルートは、雇用の確保の上で重要な要素である 2)特に交通システムはアクセスの面からキーとなる 3)また建築環境の仕事場は、従業員にとって健康で生産的な空間となるようにデザインしなければならない 4)その投資はより高い生産性と、より少ない病休で会社に経済成長をもたらす 5) 重労働を伴う建設産業においては、人材の確保の面からも、働きがいのある安全な労働環境の提供が不可欠である 6)以上のように、魅力的で生産性の高い職場環境を多面的に達成することで、より持続可能な社会の経済成長をもたらすことができる	08-1	A telier Gando 	Bulkinafasso	アトリエ	①ブルキナファソでの識字率は低く、経済成長と雇用を促進するために教育支援が重要 ②持続可能な建設技術のセンターであるアトリエ・ガンドは地方の職人、建築家、学生等の交流により地域独特の建設方法の革新を目的としている ③そのアトリエを建設するプロセス自体が伝統と現代技術の創造的な融合の機会とした ④アトリエで学んだ学生は、国籍や文化を超えた協働によって現地の課題に応える現代のニーズに関する建築教育を体験する	PD AD, PS AD AD, PS
					08-2	SiteCover 	Denmark	現場建て屋	①建設現場は種々の危険に晒されるため、作業員の安全や建築の工期、質の確保の上で、簡易でリサイクルできる対策が重要 ②本サイトカバーは、覆いとクレーンを組合せ、新築ビルの現場を室内化できる ③その結果、作業環境の安全・快適化とともに、工事行程も天候に起因する遅れを最小化できる ④この小屋は様々な機能を付加して長期的な建て屋利用も可能	PD AD, ED AD AD, ED
					08-3	Moving Schools 	Goa, India	仮設教室	①インドでの出稼ぎ労働者は1千万人に上り、同伴する子供達の教育が大きな問題である ②本「動く学校」は、水に浮いたり、陸路を移動できたり、折りたためる移動可能教室である ③ゴアでは河岸の砂利採取で集まった季節労働者のための教室が浮き板の上に初めて建てられ、その後陸上用が開発された ④最新版はテント状の移動可能な教室である	PD AD AD AD

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#09		<b>産業と革新の基盤をつくらう</b>  レジリエントなインフラを構築し、包括的かつ持続可能な産業化の促進、及びイノベーションの推進を図る	建設産業は大量の廃棄物を生み、膨大な天然資源とエネルギーを消費するため、その改善に向けた革新が不可欠	1)建築環境の持続可能性を前進させるには、生産・組み立て工程を革新する産業と産業インフラの開発が必要  2)それは、生産に関連する輸送やサービスにも及ぶ  3)建設産業は元来地域の特性に従うものであり、どの国も持続可能な製品を地域で開発すべきである  4)そのためには、地域の資源や材料を活用し、物理的、情報関連インフラの開発も必要  5)例えば、生産過程における廃棄物ゼロからライフサイクルにおける廃棄物ゼロへ焦点を移すこと  6)そして、全てのレベルで新たな能力を訓練・開発し、その可能性を試すプロトタイプが必要となる	09-1	Soft Cells by Kvadrat  	Denmark	壁天井パネル	①快適な環境は建築とその材質に左右され、それがどのように我々の五感に影響するかにかかっている ②そしてその持続可能性を追求するには、生産・解体・生分解の全体的な繋がりを考慮すべき ③「ソフトセル」は音響用壁面・天井パネルで、硬い材質の室内空間で、快適な音響環境を生み出すことができる ④その形状も色彩も全く自由で、温度、湿度に対する耐久性もある ⑤パネルは2重の繊維膜と音響パッドで構成され、低・中間周波数帯の音を吸収する ⑥そのモジュール化によって、他のセッティングにも自由に再利用ができる ⑦また、そのフレームも含めて簡単に解体可能で、ほとんどの部材・材料がリサイクル可能	AD AD, BM, BE AD, BM, BE BM, BE BE BE, BM BM, BE
					09-2	Plastic: recycled and hand-crafted  		建材	①1950年以來90億トンの生産され、その内約70億トンが廃棄物となった。そして、10%以下しかリサイクルされておらず、生分解には大変な時間がかかる ②事例の開発企業はアートと技術を統合し、広く社会にスクラップの持つ意外な美を訴えた ③そして、全ての材料は手作りで、100%リサイクル、アップサイクルできる無害なプラスチックできている ④その利用範囲はインテリアの仕上げから、外壁の被覆材に至るまで非常に名場広く、材料のリサイクル資源も多彩であった	PD BM BM BM, AD

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#10		人や国の不平等をなくそう  各国内及び各国間の不平等を是正する	建築環境は、格差を増大、強化するものとしての役割を演じてしまうことがある	1)高齢者や障害者は建築環境のデザインが原因で交通・施設が利用できず、社会的参画ができないリスクがある  2)また宗教、民族、ジェンダー、性的嗜好等が原因で、建築的に分断・隔離され得る  3)それらの不平等を是正するには、建築の社会的責任を全うし、インクルーシブなデザインに傾注すること  4)具体的には、建築、まち、都市は、全て行き易さ、使い易さを中心的なテーマとする  5)すなわち、インクルーシブなデザインとは、建築環境のプログラムが地域の文化とニーズを大切にし、誰でもが利用できることを目的とする  6)その事例は、ユニバーサルデザインのオフィスビル、開かれた祈りの場、公園、公共施設等、広範囲に及ぶ	10-1	Kamppi Chapel of Silence  	Helsinki, Sweden	チャペル	①日常生活に忙殺される誰もが、時に心の癒しとなる空間と時間を必要とする ②しかし、これまでその多くは特定の集団や個人の利用に限定され、相互交流も限定的だった ③本チャペルは宗教、信条、出自に拘わらず、インクルーシブな癒しと平和のための空間を持つ ④賑やかな中心市街地にあって、フィンランド産の木材で曲面が構成され、彫刻的にデザインされたその建築は、温かい雰囲気と快適な音響環境を市民に提供している	PD AD, PD AD, PD BM, AD, CD
					10-2	Small-scale neighbourhoods in Chongqing  	Chongqing, China	街区	①中国では今後30年に亘り3億人が都市に移住し、同時に人間的な「通り」は自動車のためのインフラに置き換えられ、単一機能のメガシティ化する ②本事例の自治体と建築家は「通り」の生活を再活性化しインフラを改善することで都市公共空間の質的改善を図った ③その結果、こうした「通り」での市民の滞留時間が延び、その後の都市政策の基本となった	PD, CD, TP CD, TP, PS PD
					10-3	The House of the Disabled People's Organization  	Taastrup, Denmark	障害者センター	①国連が策定した「障害者の人権」によれば、建築環境のアクセシビリティとは年齢や障害度等によらず全ての人々が利用できるように配慮する概念である ②デンマークの障害者団体は、その本部をモデルとなるオフィスビルを建設した ③設計チームはより統合的でローテクな手法を駆使し、五感に訴える詳細なデザインの開発に初期段階から注力した	PD, AD AD AD, BM

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
	番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法
#11		住み続けられるまちづくりを  包摂的で、安全かつレジリエントで、持続可能な都市及び人間居住を実現する	建築環境は、持続可能な都市やコミュニティの発展にとって極めて需要である	<p>1)計画、設計、デザインは、多岐に亘る方法で都市やまちをインクルーシブで、レジリエントで、持続可能な環境とすることができる</p> <p>2)アフォーダブルで健康な住環境や、徒歩や自転車で行き来できる都市交通インフラの整備は特に重要である</p> <p>3)また、全ての関係者がプロセスに参加できるように配慮することで、インクルーシブでリスクの少ない都市デザインが可能となる</p> <p>4)その際、市街地における過剰消費や、交通、廃棄物、騒音、大気汚染等の環境負荷を低減する対策が不可欠</p> <p>5)そして、気候変動に対処でき、都市化による生物多様性の退化を防ぐ緑化、造園が求められる</p> <p>6)その事例は、住宅改修、気候適応計画、リサイクル・ステーション、ポケットパーク、緑道等、広範囲に及ぶ</p>	11-1	Low Impact Living Affordable Community  	Leeds, UK  Photo: White Design	住宅街区	<p>①都市も建築も、そのデザインによって安全でレジリエントな環境を創出し、効率の高い資源・エネルギー利用を促進しなければならない</p> <p>②本事例の「低負荷型生活の、アフォーダブルなコミュニティ (LILAC)」とは、プライベートな領域と共用施設を混在させたコ・ハウジングである</p> <p>③その中には緑地で囲まれた家事施設のあるコモン・ハウスがあり、社会的交流を促進する</p> <p>④建築的には、地域産材を多用したプレファブ構法とストロー・バールや、高効率の設備等との組合せによって、極めてエネルギー消費の少ない快適な住環境が生まれた</p> <p>⑤また、カーシェアリング、設備・工具の講習、共同食事会、菜園栽培等が運営されている</p>	PD, AD, TP  AD, CD  CD  BM, ED, AD  CD, AD
					11-2	Taasinge Square in the Climate Resilient Neighbourhood  	Copenhagen, Denmark  Photo: Steven Achiam, GHBLandskabsarkitekter	広場	<p>①コペンハーゲンでも、気候変動による都市部の豪雨は洪水等の新たな災害を生み、老朽化したインフラの維持管理に膨大なコスト負担が増大している</p> <p>②本事例はその緩和を狙った初期の都市広場で、大量の雨水貯留・処理と、市民の出会いの場としての役割を担っている</p> <p>③これによって豪雨時の下水の負担を軽減する一方で、ここに生まれた緑地が生物多様性を高め、日常的に可視化される</p> <p>④さらに、地区住民の参加を通じて、プロジェクトの意義を共同理解し、帰属意識を高めることに成功した</p>	PD, TP  LD, TP, CD  MD, LD  LD, PS

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#12		つくる責任、つかう責任  持続可能な生産と消費のパターンを確保する	建設産業は、廃棄物を生み出す主な産業の一つである	1)建物の新築・解体・改修時に端材、型枠、包装を含め、価値を喪失した多様で大量の廃棄物が発生する  2)従って、長寿命のデザイン、継続的メンテナンス、注意深い改修は、建築環境の持続的消費の鍵である  3)当初の利用形態が変化したり、時代遅れになっても、デザイン次第で対応でき、投入された材料や資源の価値が保持される  4)そして、個々の部材や材料は、そのデザインと適用によって、リサイクル、アップサイクルできるようになる  5)すなわち、新築・既存改修のデザインと建設は、使用された材料の資源量と、廃棄物の発生量の削減を優先しなければならない	12-1	DESI Training Center  	Rudrapur, Bangladesh	学校	①途上国では家内産業や自給自足に依存してきたが、生活の都市化や近代化とともに輸入材の急増等により建築のカーボンフットプリントが増大 ②本事例はバングラデッシュの寒村に伝統工法と近代構法を結合して建設された職業訓練学校 ③パッシブな自然エネルギー利用、空間構成の合理化、地方の文化に根ざした美学やライフスタイルの尊重、セルフビルドにより、住民が誇れるアフォードブルで美しい学びの場が実現した	PD, BM, AD  AD, MD  BM, AD, CD
					12-2	Upcycle Studios  	Chongqing, China	スタジオ	①都市化の進行とともに住宅需要が急増しつつあり、それとともに廃棄物の増大し、その潜在的な資源の価値を高めるアップサイクル化は重要な課題 ②本事例では、住居地域をアップサイクルされた地域の廃棄物を活用し、美しさ、質、価格の面で劣らない建築デザインを施した ③そして、その手法の市場性、拡張性を重視して商業化に成功し、ステークホルダーの意識を変えつつある	PD, BM, AD  BM, AD  BM, CD
					12-3	Mjøstårnet  	Brumunddal, Norway,	オフィスビル	①今後も大量の建築が建設され、コンクリートのような建材の生産は膨大なCO2を排出するため、持続可能な建材の導入が不可欠 ②ノルウェーにある本事例は、北欧に現存する12世紀のスターブ(樽板)教会にヒントを得て、地域で持続可能に管理された森林で伐採された木材を構造体に用いた、世界で最も高い木造ビルである	BM, AD  AD, BM

SDGs		一般的目標		建築ガイド		事例				
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリー
#13		<b>気候変動に具体的な対策を</b>  気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる	建設環境の CO2 フットプリントを削減し、建築やまちに変動する気候に適応できるようにしなければならない	1)建築、まち、都市の CO2 負荷削減のため、建築における再生エネルギー生産の統合、持続可能な交通システムの拡張、建材輸送の削減等によるエネルギー革新を図る  2)地域特性を生かした建築デザインによって、暖冷房、照明用エネルギー消費を最小化しつつ、室内環境の快適性を最大化できる  3)また、進行しつつある気候変動による頻発する豪雨、洪水、ハリケーン、干ばつ、熱波等に適応したレジリエントな建築・まちづくりが必要  4)その方策は、地域の文化、地形、気候に細心の注意を払うことが大前提  5)例えば、リクリエーション地区でありながら、対豪雨の調整池機能のある、コ・ベネフィット型の公園等がそれに当たる	13-1	Qunli Stormwater Park  	Harbin, China,  Photo: Kongjian Yu, Turenscape	公園	①都市の洪水対策として、習近平主席は「都市はスポンジのようではなければならない」とし、中国における急激な都市化に、伝統的な手法を再導入した ②本事例はその「スポンジ・シテイ」の政策に準拠したランドスケープ・デザインである ③そして、ハルビン市の新地区の広大な公園かつの湿地を再生し、気候変動に対応した ④この湿地は開発地域からの雨水の貯留・浄化するとともに、自生する豊かな植物景観をもたらす	PD, LD, TP  LD  LD  LD, TP
					13-2	Lindevangs Park  	Frederiksberg, Denmark,  Photo: Carsten Ingeman	公園	①地球温暖化によりデンマークにおける夏・秋の降雨量の増大、豪雨の傾向が強まり、持続可能な都市排水対策が不可欠 ②本事例は、デンマークの市街地の緑化アーバンスペースで、市民のための出会いの場おとしての施設と融合した気候変動に対応した公園である ③水とその流れを統合的なランドスケープ・デザインの特色とし、多様な植生が彩っている	PD, LD  LD, CD  LD
					13-3	Portland Green Streets Programme  	Portland, USA  Photo: Bureau of Environmental Services	緑道	①極端な降雨の増加はさらなる降雨の原因となり、都市部の下水システムにとり大きなリスク ②ポートランド市は降雨時の表流水を制御し、近隣の活性化と地域経済の強化を戦略とするリーダーである ③このグリーン・ストリート(GS)は自然のシステムを活用し、法規の遵守と資源の保全、リスクの軽減を同時に図り、官民の共同により、市内に 2,000 以上の GS が建設された	PD  PD, CD  LD, PS

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#14		<b>海の豊かさを守ろう</b> 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	殆どの建築環境は陸上にあるが、その活動は海洋に影響を及ぼす	1)建設産業は海上輸送で海洋に影響を与え、まちや都市は汚水や廃棄物を海洋に放棄することで多大な負荷を及ぼす  2)従って、地域の建材や部材を用いて長距離の海上輸送を減少させ、非分解性の廃棄物(プラスチック包装材等)の使用を止めなければならない  3)また、ランドスケープ・デザインや都市計画によって、汚染物質はオンサイトで処理し、地下水や海洋に流出するのを防ぐ  4)設計、計画、デザインによって、コストを削減し、コ・ベネフィットのある水処理インフラを構築し、ランドスケープ・デザインによって海に面する汚染した陸地を再生することができる  5)また、こうした海岸エコ・システムに関する建築環境を通して、新たな知識を生み出し、人々の意識を高めることができる	14-1	The Wadden Sea Centre  	Waden Sea, Denmark	科学館	①デンマーク最大の国立公園 Wadden Sea はその独特な景観、豊かな生物多様性、渡り鳥等で世界遺産に登録されている ②このセンターは同地の干潟と海に関する知識と理解を深め、保全するために設置された ③建築は海と陸地間の干潟の広大で水平な景観と調和を図り、様々な施設によって、訪問者に対して生息する野生生物の広報を展開している ④この環境教育の背後には、知識は経験によって獲得できるという理念があり、大学、学校、幼稚園の学生、生徒、園児たちは、同地のランドスケープの動植物と地形との関係を効果的に体験し学ぶことができる	PD PD, AD AD PD, AD, LD
					14-2	Fischer Family 'August'  	Copenhagen, Denmark	照明器具	①持続可能な建築は、そのすべての部材や建材が循環的利用できるように配慮すべきである ②特に生産されるプラスチックの2割が建設産業で消費されるため、そのリサイクルに大きな可能性を秘めている ③本事例は既存の照明器具にエネルギー消費の少ない LED 灯具の適用を可能とし、かつ全ての部材を再利用、リサイクルできるように開発した灯具である ④特に近年頻発する「幽霊漁網」の「幽霊漁業」に鑑み、本製品ではこの幽霊漁網を原料とし、アップサイクルした素材を開発し、デンマーク国立水族館に設置された	PD, BM BM BM, ED, AD BM, AD

SDGs	一般的目標		建築ガイド		事例					
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#15		<b>陸の豊かさを守ろう</b> 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	陸地を占領する建築、まち、都市の量的拡大が進んでおり、陸上のエコ・システムと生物多様性は大きなプレッシャーを受けている	1)建築環境による生態系へのプレッシャーを緩和するために、建築、まちは動植物のための生息場所をその中に設けなければならない  2)そして、開発にあたっては緑地の撤去を最小限に抑え、持続可能なエコ・システムを保全するために自然のネットワークを既存の市街地に展開し、建築環境との共生を図る必要がある  3)さらに、建設産業は持続可能で再生可能な方法で生産された材料を使用し、例えば森林の過度な伐採を避けることができる  4)また、地域の動植物が建築やランドスケープ・デザインの基盤となり、地域の生態系と連鎖しながら支援できるようにする  5)そのような繊細で傷つきやすい自然の中に建築を注意深く配置することで、保全に加えて訪問者の認識を深めるエコ・ツーリズムが展開できる	15-1	Red Rib bon Park 	Qinhuangdao, China,	公園	①建築の自然への介入と保全のバランスを取ることで、高密度な地域で野生生物を保護し、かつ緑豊かなエリアへのアクセスを確保する ②本事例はリクリエーションのためのランドスケープ建築で、上記の目的に応えるものである ③印象的な赤いリボン状のオブジェが河岸に沿って湾曲し、様々な要素が統合されたオープンスペースに人々を誘う ④遊歩道は市民のための川と湿地に向かうアクセス路である	AD, LD, TP  LD  LD  LD, TP
					15-2	Novo Nordisk Nature Park 	Frederiksberg, Denmark,	オフィスの造園	①近代都市計画の蔓延によって、都市の大部分地表面が非透水性に舗装され、多くの野生生物は生息場所を失った ②本事例は、企業の本社ビルの造園で、地域の森と独特な地形にヒントを得た持続可能な生物多様性を強化している ③意欲的なバイオ・トープ化手法が駆使され、従業員、訪問者、市民の憩いの場となっている	TP, LD  LD  LD, CD
					15-3	The Norwegian Wild Reindeer Centre Pavilion 	Hjerkind, Norway	パビリオン	①現在までの都市化によって自然環境へのストレスは急速に増大し、未来世代は基本的なエコ・システムからの恩恵を失う ②本事例は野生トナカイの観察・研究センターであり、研究者も観光客も固有の植物種が豊富な周辺地区を通る長い遊歩道を介してアクセスできる ③設計チームは建材の質と耐久性に焦点を当て、建物が厳しい気候に耐え、かつ美しくユニークなノルウェー独特のランドスケープに統合できるようにした	PD, TP, LD  AD, LD  AD, LD

SDGs		一般的目標		建築ガイド		事例				
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#16		<p>平和と公正をすべての人に</p> <p>持続可能な開発に向けて、平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に四方へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>	<p>議会、裁判所、公立図書館は、公正で平和な社会の要であり、一方地域のコミュニティ・センター、祈りの場、避難所は包摂的で思いやりのある社会に対する市民の係わりを代表しうる</p>	<p>1)議会、裁判所、公立図書館等は、公正で平和な社会の要であり、一方地域のコミュニティ・センター、祈りの場、避難所は包摂的で思いやりのある社会に対する市民の係わりを代表しうる</p> <p>2)建築が社会制度を公正にするわけではないが、建物に込められた努力と価値は社会正義や民主主義や非排他性への社会の取り組みを表現しうる</p> <p>3)この事例には、権威ある省庁の建物や市庁舎から、被災地における国連の緊急時の建築に至る幅広い種類のものがある</p> <p>4)建物や公共空間で社会の価値表現をするには、その建築およびプランニングは公共空間や社会制度が非排他的で居心地が良く安全で偏見のないことを保証しなければならない</p> <p>5)また、建設産業は、すべての形の組織的犯罪を抑止するように、調達や建設過程で十分な注意を払わねばならない</p>	16-1	<p>The International Criminal Court (ICC) in Hague</p> 	Hague, Netherlands	裁判所	<p>①ICCのような施設は、その安全性を保持しつつ、透明性と非排他的な公的領域としてデザインするジレンマを抱えている</p> <p>②本事例では、いわゆる反テロ建築としてその両立を試みた</p> <p>③設計チームは、具体的にテロの防止、独自性の確保、気候への適応、降雨の制御対策、訪問者、従業員の安全等、多彩なテーマに取り組んだ</p> <p>④この施設の持つ国際的な意義を、生物多様性の中庭で象徴的に表現している</p>	PD, AD, LD AD, LD AD, LD LD
					16-2	<p>Bogotá – policies of change</p> 	Bogotá, Colombia	まちづくり	<p>①ボコタ市は 1990 年代中頃以降、人口の大量な都市流入が貧困の深刻化、犯罪率の急上昇を招き、世界で最も住みにくい都市の一つと見なされるに至った</p> <p>②そこで、市の指導者は継続して持続可能な開発に取り組んだ</p> <p>③その公共インフラの整備や、強力な市民意識と参加を促進し、同市は持続可能な都市開発の先導的なモデルとなった</p>	PD, TP PD TP, CD
					16-3	<p>Tingbjerg Library and Culture House</p> 	Copenhagen, Denmark	公共文化施設	<p>①コペンハーゲン近郊の同地域は犯罪も多い社会的問題の多いことが悩みの種だった</p> <p>②そこで同市は、既存の学校を保存しながら、全く新しい概念の図書館と文化館を併設することを決定した</p> <p>③そのユニークな塔状の形態と、道路側に開いた透明なファサードを介して、施設内の諸活動を見せ、市民を温かく迎い入れる構成が特徴的である</p> <p>④そして近隣コミュニティ活動を支援する運営に注力している</p>	PD, TP PD, AD AD, CD CD

SDGs		一般的目標		建築ガイド		事例				
番号	ロゴマーク	標語／基礎的目標	建築環境の役割	取組概要	番号	名称／写真	場所	種別	主な課題と具体的手法	カテゴリ
#17		パートナーシップで目標を達成しよう  持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	各都市は、多くの人の手によって作られる。同様に、17のSDGsに到達するには、当事者の一人だけでは不可能であるから、協働することが不可欠である	1) 目標を達成するには、行政から研究者、事業家、市民に至るステークホルダーの参加が不可欠である  2) 建築家、プランナー、デザイナーは知見を共有し、協働して持続可能な解決案を開発し、それを実践することができる  3) その事例は、ホームレスのためのNPOパートナーシップから、建設産業に持続可能な製品やサービスを提供する商業的パートナーシップに至るまで、広範囲に及ぶ  4) そのプロセスにおける鍵は、その果実が持続可能な実践として確実に普及するための、エンド・ユーザーとの協働である  5) また、SDGsに掲げられた目標の課題はグローバルであり、その達成には、専門領域の国境を越えた協働が不可欠である	17-1	TECHO – a youth led non-profit organization  	Latin America	組織	① ラテンアメリカでは多くがスラムに住み、苛烈な住環境と極度の貧困に晒されている ② この課題に取り組むため、青年主導によるNPOのTECHOが設立された ③ その戦略的な主な目的は以下の3つである I : スラムの地区開発の促進 II : 社会的意識と行動の強化 III : 政治的影響力の拡大 ④ 以上を実現するため、投資や人的支援をもたらす国際的企業とのパートナーシップに注力	PD PD PD PD, PS
					17-2	Climate Tile  	Frederiksberg, Denmark,	製品	① 建築環境の気候への適応は、分野や関心を越えた変革と協働がその前提となる ② 本事例は、建築家、排水技師、研究者、慈善団体、コンサルタント等のパートナーシップで開発された水処理対策機能を持った舗石用タイルである ③ このタイルは気候変動による超過排水量の30%を集水し、排水インフラの負荷を軽減できる	PD BM, LD, PS LD
					17-3	Architecture without borders, Magburaka Education and Computer Center  	Magburaka, Sierra Leone	活動	① 不平等に関連する多くの問題は建築環境に根ざし、それと闘うには、公正な建築設計、都市計画、建設方法を結集し、境界を超えて協働が不可欠。それは社会的責任であり、多様な人間文化を敬い、歴史的遺産を保全することにつながる ② 「国境のない建築インターナショナル(ASF-Int.)」はその代表的なNPOで、シエラレオネでの事例のような貧困地域における能力開発支援活動を、5大陸で展開している	PD, AD, PS PS, AD

# 謝 辞

編集委員会は、本出版の背後にいる大勢のパートナーによる国連 17SDGs への取り組みに感謝したい。

特に、デンマーク王立美術アカデミー建築学科、デザイン・保全コース (KADK) を目標に対する取り組みにコミットさせた Rector Lene Dammand Lund 氏、UIA 会長として持続可能性のテーマを取り上げ、UIA 内に 17UN-SDGs に関する常置委員会 を創設した Thomas Vonier 氏、そしてデンマーク建築協会 会長で建築における持続可能性に強力に取り組んだ Johnny Svenborg 氏に、心から謝辞を贈りたい。

また、UIA の SDGs 常置委員会共同委員長の Ishtiaque Zahir Titas 氏にもその努力に感謝したい。それなくして、本書の出版は不可能であった。

Dreyers 財団には資金援助をしていただいた。

そして何よりも、本書に掲載させて戴いた世界中の建築家には、その持続可能な開発の課題への取り組みと努力に対し、心から感謝したい。

1. The Royal Danish Academy of Fine Arts Schools of Architecture, Design and Conservation (KADK): 1754 年、コペンハーゲンに創立された建築学校。2015 年に UN-SDGs に取り組み、全ての卒業生に対して論文のテーマで同目標に取り組むことを義務付けた。詳細は、以下を参照されたい。

[www.kadk.dk](http://www.kadk.dk)

2. The UIA Commission on the 17 UN Sustainable Development Goals: 2017 年に UIA によって創設された。本委員会は、建築と建築家が、いかにすれば目標を満たすために寄与できるかに関する知見を収集し、分析し、広めるために、世界中の建築家をまとめることを目的としている。詳細は、以下を参照されたい。

[www.uia-architectes.org/webApi/en/working-bodies/sdg](http://www.uia-architectes.org/webApi/en/working-bodies/sdg)

3. The Danish Association of Architects: 1879 年に、建築家の状況を支援・促進し、都市、建築、ランドスケープ、環境における建築的質を確立するために創立された。UIA における北欧セクションを形成する北欧諸国の建築家協会は、共同して 2023 年にコペンハーゲンで UIA 世界大会を主催する。その大会テーマは『持続可能な未来』であり、17UN-SDGs に焦点が置かれる予定である。詳細は、以下を参照されたい。

[www.arkitektforeningen.dk](http://www.arkitektforeningen.dk)

[uia-sdg@arkitektforeningen.dk](mailto:uia-sdg@arkitektforeningen.dk)

# AN ARCHITECTURE GUIDE

## To the UN17 Sustainable Development Goals

### Authors and Editorial Committee

Natalie Mossin (Chief Editor)  
Sofie Stilling, Thomas Chevalier Bøjstrup,  
Vibeke Grupe Larsen (Architectural Editors)  
Maja Lotz (Scientific Editor)  
Annette Blegvad (Managing Editor)

### Layout and graphics

Lene Sørensen Rose

Printed in DK by Dystan & Rosenberg Aps.  
Paper: Munken Lynx 170g, 100g

1. edition, 1. print, 2018  
Published by KADK, Copenhagen  
ISBN: 978-87-7830-992-1

The guide is the result of a partnership between

Institute of Architecture and Technology, KADK  
The Danish Association of Architects  
The UIA Commission on the UN Sustainable Development Goals



Thank you to the members of UIA Commission on the 17 UN Sustainable Development Goals for their contributions, without which this publication would not have been possible.

Supported by  
Dreyers Fond

dreyersfond

Suggestions of cases for the second edition of the guide can be emailed to:  
uia-sdg@arkitektforeningen.dk

## 日本語版訳・一覧表編集

岩村 和夫 (いわむら かずお)

早稲田大学工学部建築学科卒業後、1973年大学院理工学研究科建築工学専攻修士課程修了（工学修士）。同年にフランス政府外務省給費技術交流研修生として渡仏。

その後、在パリ「Georges Candilis 事務所」を経て、1977年ドイツ、ダルムシュタットに「建築都市設計同人 AG5」設立。1980年に帰国し、東京に「岩村アトリエ」設立。

1998年武蔵工業大学環境情報学部教授、同大学院教授等を経て、2011年東京都市大学都市生活学部教授に就任（2014年3月まで）。

日本建築家協会理事・副会長、日本建築学会理事、国際建築家連合（UIA）理事・副会長、横浜市都市美対策審議会会長等を歴任。環境に配慮した建築・住まい・まちづくりの作品、関連する著書多数。それらの業績に対し、日本建築学会賞をはじめとする受賞も多数。

現在、東京都市大学名誉教授、(株)岩村アトリエ代表取締役、香港・珠海学院客員教授、東京工業大学講師。UIA、SDGs 常置委員会委員（2017.10～）

An Architecture Guide to the UN 17 SDGs



The 1<sup>st</sup> Book in Japanese compiled by JIA  
January 2019